

概要

- 令和4年度開始臨床研修から、過去直近3年間の研修医の採用実績が平均25人以上の基幹型臨床研修病院である大学病院本院においては、**都道府県への届出により、基礎医学に意欲がある学生を対象に、臨床研修と基礎医学を両立する「基礎研究医プログラム」の募集が可能。**
- 基礎研究医プログラムの定員は、**一般プログラムの募集定員とは別枠で設定**し、マッチングに先行して選考を行う。
- 2年間の基礎研究医プログラムの修了により、通常プログラムと同様、臨床研修修了となる。

プログラム設置要件

以下の設置要件を充足するプログラムについて、募集定員の設定（※）が可能。

- プログラム開始時に、**所属する基礎医学系の教室を決定**し、オリエンテーションを行うこと。
- 選択研修期間に、**16週以上、24週未満の基礎医学の教室に所属する期間を用意**すること。
- 基礎医学研修を開始する前に、臨床研修の到達目標の到達度の評価を行うこと。
- 臨床研修後、4年以内を目処に、**作成した基礎医学の論文を、研修管理委員会に提出**すること。
- 臨床研修修了後に、プログラム修了者の到達目標の達成度と臨床研修後の進路を、管轄する地方厚生局に報告すること。

※募集定員は、原則1名だが、基準に応じて0～5名。

プログラム修了後の想定キャリア

プログラム中の大学院への入学は必須ではないが、プログラム修了後は大学院への所属が望ましいとされている。修了者のその後のキャリアとしては主に以下のようなものが想定される。

- (例) ・ 臨床研修修了後、大学院生、ポスト・ドクター、助手等として大学に所属し、論文を執筆して学位を取得、その後、教員又は研究員として研究に従事
- ・ 臨床研修修了後、臨床業務に従事しながら、大学院に所属し論文指導を受ける
- ・ 国立の研究機関等に所属
- ・ 製薬企業に就職
- ・ 行政機関に就職（厚生労働省医系技官 等）
- ・ 海外の研究室へ留学
- ・ 病理診断の経験を経て、病理専門医や細胞診専門医を取得

届出状況

都内の複数の大学病院本院から届出あり。各基礎研究医プログラムについて、設置要件及び以下の定員設定基準を希望定員数に応じて充足していることを確認済み。

- 基礎系の教室を通じて、基礎医学研究歴7年以上の複数の指導者（医師）が指導できるキャリア支援体制が確保されている。
- 当該プログラムの修了者に魅力あるキャリアパスを複数提示している。
- 論文指導を行う環境があり、学会発表の機会が用意されている。
- 年間受託している基礎医学分野の科学研究費助成事業と国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）対象事業の予算の合計が8,000万円を超えている。
- 基礎医学分野でImpact Factor 15以上の論文が過去3年間にある。

スケジュール

